

# No.29 キーワード：不耕起V溝直播

## 愛知県豊橋市

### 基本情報

- 気候 温暖な気候
- 土質 砂壤土
- 従事人数 5人
- 臨時雇用 5人
- 作付開始年度  
飼料用米 H27年  
稲WCS H20年

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	8 ha	0.1 a
主食用米(V直)	10 ha	0.1 a
飼料用米(V直)	6 ha	0.1 a
稲WCS(移植)	1 ha	0.1 a
稲WCS(V直)	12 ha	0.1 a



不耕起V溝直播機による播種作業

### 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 水田単作地域であり、品種構成は極早生種16%、早生種42%、中生種42%
- 時代の流れをいち早く察知し、コスト削減等に繋がる新しい技術・知見があれば積極的に挑戦
- 労働力は家族労働
- 主食用米の販売方法は米屋への販売を主体

### 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

#### 不耕起V溝直播

耕起せずに乾田を鎮圧機で整地し、そのまま播種する方式

- ① 本来4月～5月に育苗・代かき・田植作業の労働が集中していたが、本技術の導入により1月～3月に整地播種作業が可能
- ② 中干し作業が不用となり、省力化が可能

(この地域では冬期に通水がないため、駆動式鎮圧機による鎮圧を2月上旬から3月上旬に実施)

#### 適用条件

- ① 出芽苗立ちするまで、近隣の水田から入水がないこと
- ② 地域で品種の団地化ができており、作業計画を立てやすいこと
- ③ パイプライン化され水管理作業が容易であること など

### 導入効果

- 労働時間 ▲3割  
(移植栽培との比較)
- 生産費  
自家労働力費を加味した生産費※ ▲1割  
(移植栽培との比較)  
※生産費は種苗費、肥料費、農業薬剤費、光熱動力費、減価償却費雇用労賃等を含む

#### ※作業分散効果

→規模拡大、複合経営に発展させることで省力効果が期待される。

### 支援体制

- 県農業総合試験場の開発技術であり、農業改良普及課の勧めで0.6haの展示栽培を実施し、作業分散と労働時間の削減による導入効果が実証できたことから本格的に取組開始
- JAの作業受託部会の会員としてJAと連携し、地域農業に貢献

### 課題・今後の目標

- 除草剤散布に労力と資材費がかかるため、安価な除草剤の使用と散布回数が少ない除草技術の導入